

# 事例 4 提言 私たちの町・未来の上田

**DATA**  
 場所：岩手県盛岡市上田地内  
 実施者：岩手工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (019) 624-3131]  
 参加者：盛岡市立上田小学校6年生 91名  
 実施日：平成11年11月30日

関係する分野  
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

**背景**  
 上田小学校で行われた、障害をもった方の講演をきっかけに、よりよい地域にしていくためにはどうすればよいか、自分たちにはどんなことができるかという課題解決に向けた学習として取り組みました。

**内容**  
 上田小学校周辺を5つのエリアに分け、その中に含まれる国道4号や46号にある地下道や歩道橋エリアについて、実際に車椅子での歩行調査や地下道内でアイマスクを付けて歩行調査を行い、障害をもった人の視点で自分達の住む上田の街を見直すことができました。

**成果**  
 障害をもった人の視点で自分達の住む上田の街を見直し、問題点を明確にとりまとめて、この街が誰でも住みやすい街となるように「夢マップ」として提言をとりまとめました。後日、この提言もふまえて歩道の拡幅や段差の解消などの工事に取り入れられました。

**参加者の声**  
 「上田通りは歩道と車道がわかれていなくて、障害をもっていない人もあるくには大変だ。」  
 (盛岡市立上田小学校 6年生)  
 「地下道にはスロープがあるが、車椅子がやっと通れるくらいの幅しかないし、傾斜もきつい。エレベーターがあってもいいと思う。」  
 (盛岡市立上田小学校 6年生)



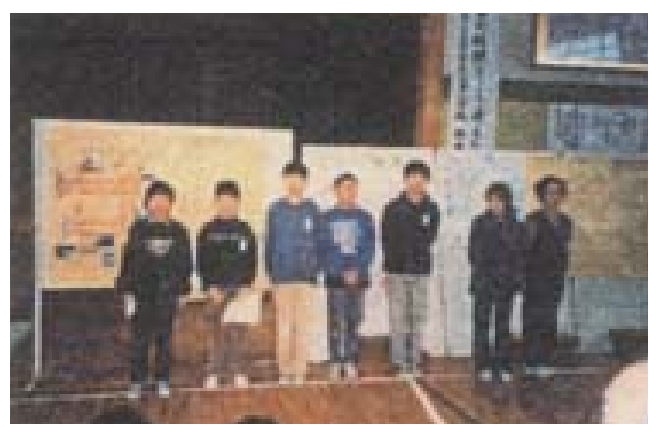
実践記録集



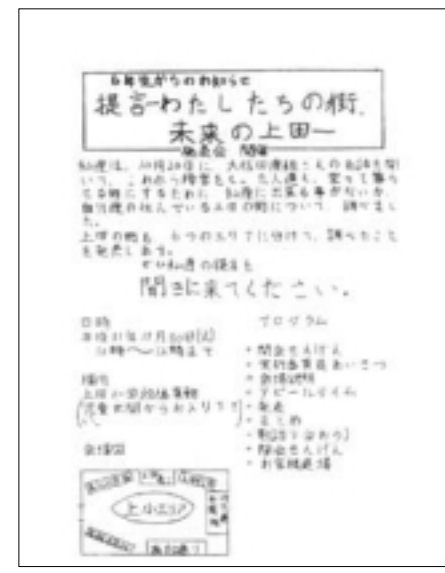
車椅子で国道4号を走行調査



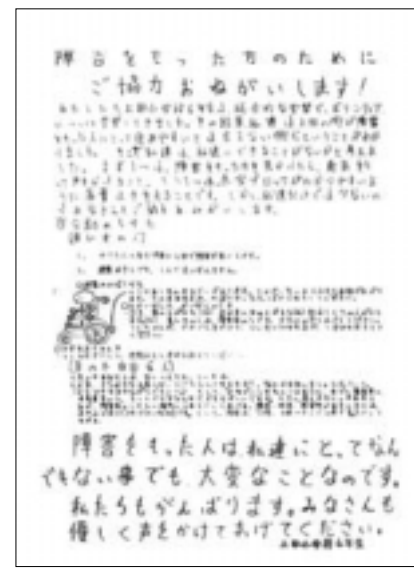
地下通路をアイマスクを付けて歩行体験中



「私たちの町・未来の上田」発表会の様子



発表会に使う資料



思いやりの心を育てています

- ポイント**
- この体験を通して、自分達の住む街を見直すきっかけとなりました。
  - 子供達が、実際に体験し感じられるよう主体的な取り組みとなっています。
  - 障害をもった人の視点で、調査や体験をしたことで福祉ボランティアについて考えるきっかけとなりました。
  - 自分達が調査したことを、人に分かりやすく表現できるよう工夫をしています。

- 次のステップに向けて**
- 今回は障害をもった人の視点で自分達の街を見直しましたが、違う視点で自分達の街の問題を考えてみることもできます。環境(ゴミ問題)など。
  - 工事が終わったところを再度調査して、どのように改善されたのかを調べてみるのも大切だと考えられます。(バリアフリー調査隊)